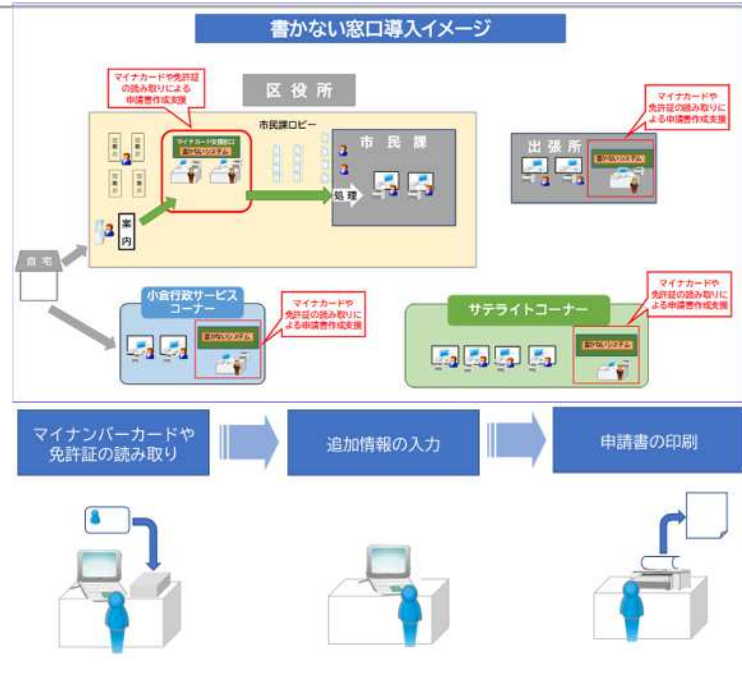


事業概要 【市民課窓口への書かない窓口導入事業】

事業概要	令和7年度以降、未曾有の大混雑が予想されている区役所市民課等の窓口にて、マイナンバーカードや免許証を読み取って申請書に印字する「申請書作成支援システム」を導入し、市民サービスの向上を図り、「書かない」「待たない」窓口を実現するものである。		
具体サービス	【申請書作成支援システム】 <ul style="list-style-type: none"> カード読取装置、タブレット及びプリンタのセットで稼働する「書かない」システムを区役所、出張所などの市民対応窓口を導入 マイナンバーカードや運転免許証などの本人確認書類を、カード読み取り装置でOCRまたはICチップ読み出して、氏名等（基本4情報）を取得し、申請書にプレ印字する。 		
総事業費	25,850千円	主な経費	<ul style="list-style-type: none"> 必要機器導入経費(PASiD Face等) →委託料：19,045千円 市民向け画面の開発経費 →委託料：5,217千円
推進体制	<ul style="list-style-type: none"> TOPPANエッジ（株）：システム提供（委託） （株）エイジック：システム操作・案内補助（委託） 		



KPI		R7 目標値	R7 実績値	単位	KPIの達成状況に応じた今後の対応等
①	書かない窓口サービス利用件数	58,000	-	件	
②	書かない窓口サービス手続き時間短縮	4,833	-	時間	
KPI測定後に効果検証を実施					

事業概要 【公共施設予約システム導入事業】

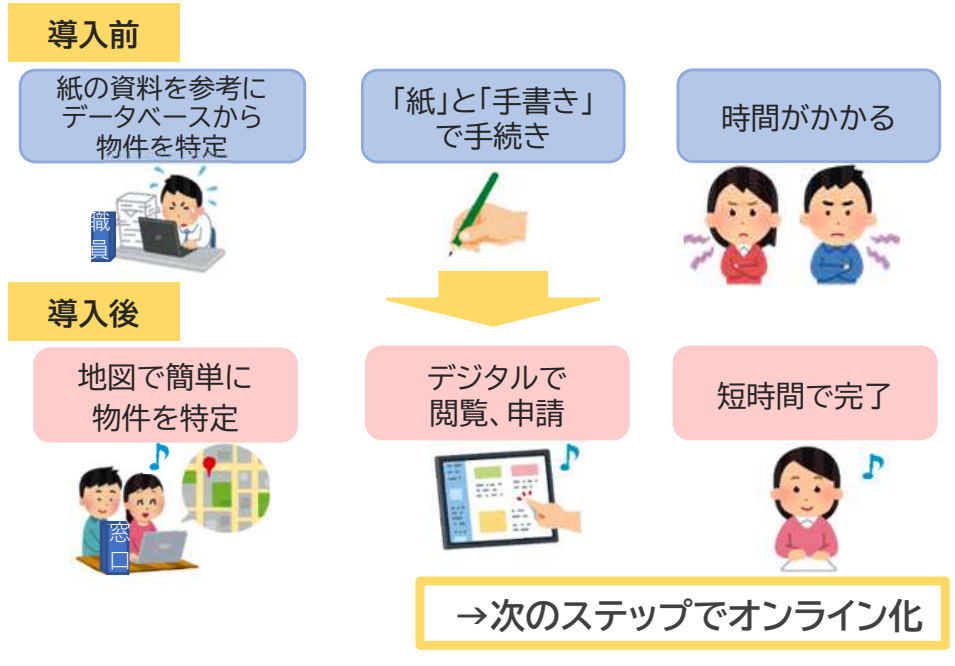
事業概要	体育館の半面利用やオンライン決済など、旧予約システムの課題を解消した新たなシステムへアップデートすることで、対象施設の大幅な拡充、公共施設の利用促進につなげるもの。		
具体サービス	<ul style="list-style-type: none"> 対象施設を66施設（233施設）から258施設（1,410施設）へ拡充 オンライン上の空き状況検索、抽選・先着予約のほか、新たにオンライン決済、スマートフォンでの利用に対応したUI改善、利用者登録のオンライン化、反面利用や競技別利用など細やかな予約ルールの制御、ローコード機能による管理者業務の効率化に対応 		
総事業費	48,964千円	主な経費	<ul style="list-style-type: none"> 必要機能開発費 →委託料：45,969千円 運用管理費 →委託料：2,995千円
推進体制	<ul style="list-style-type: none"> ウイングアークグループ共同企業体：システム提供（委託） SBペイメントサービス(株)：オンライン決済サービス提供（委託） 		



KPI		R7 目標値	R7 実績値	単位	KPIの達成状況に応じた今後の対応等 ・利用団体登録者数の目標は達成（旧システムからの移行分含む、別途「個人登録数」3,966件あり） ・引き続き、市民に対して周知広報を行い、利用者の拡大に努めるほか、ベンダーに対し機能改善を求め、利用者満足度と利便性向上につなげていく。
①	利用団体登録数	5,000	13,420	件	
②	施設利用におけるオンライン決済利用率	20	—	%	
③	施設の稼働率向上	25	—	%	
④	利用者満足度	60	—	%	

事業概要 【建築確認情報セルフ検索閲覧システム導入事業】

事業概要	過去の建築確認の情報提供（建築計画概要書の閲覧、台帳記載事項証明書の交付）は、手続きに時間がかかる、申請書が手書きなど、サービスの利便性に課題がある。これを改善するため窓口タッチパネル端末を設置し、画面上で簡単かつスピーディに閲覧や申請を行えるシステムを導入し、次のステップであるオンライン化につなげるものである。		
具体サービス	【建築確認情報セルフ検索閲覧システム】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口タッチパネル式の端末を設置し、GIS地図や検索機能を使って、利用者自らが操作して容易に必要なデータを見つけられる。 ・ 概要書の閲覧をペーパーレス（画面上）でスピーディで配置図拡大も自在に閲覧できる。 		
総事業費	26,641千円	主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ・ システム開発等経費 →委託料：24,121千円 ・ 必要機器導入経費 →委託料：2,520千円
推進体制	（株）日本インシーク：システム開発と構築（委託）		



KPI		R7 目標値	R7 実績値	単位	KPIの達成状況に応じた今後の対応等	KPI測定後に効果検証を実施
①	システム利用者数	2,400	-	人		
②	情報提供件数	6,500	-	件		
③	利用者の満足度（5段階）	3.0	-	ポイント		

事業概要 【対話型AIを活用した介護事業所の生産性向上事業】

事業概要
 介護事業所は、3年に1度の介護保険の報酬改定に伴い、算定できる加算項目などが変更となり、情報収集等の対応に苦慮している。また、日頃から様々な疑問に対し、一つずつ、法令や通知を確認しながら事業を運営している。そのため、対話型AIを活用した回答システムを導入することで、事業所の事務負担の軽減や働きやすい環境整備に寄与するとともに、回答の統一性が担保され事業運営の安定化を図ることができる。その結果、介護職員が介護に充てる時間を増やせることなどを通して、市民が安心して質の高い介護サービスを受けることに繋がる。

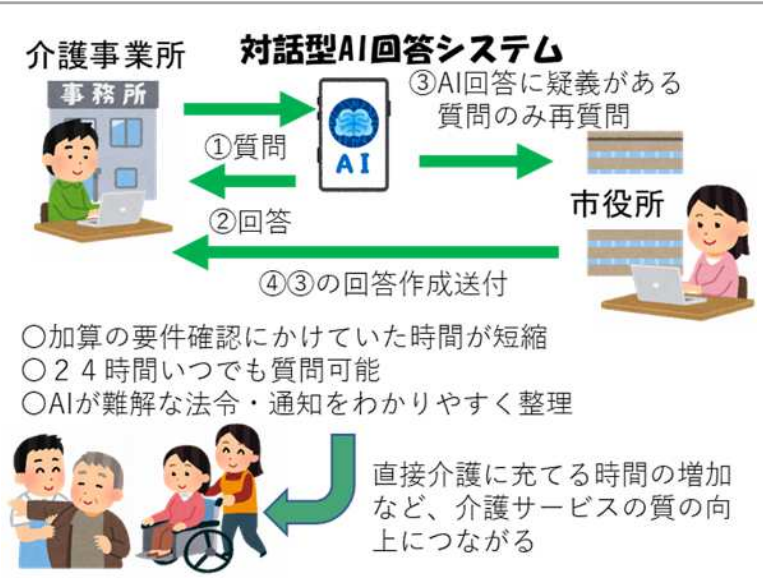
具体サービス
【介護報酬等に対する質問に関する対話型AIサービス】
 ・ 介護報酬の加算要件等への回答
 ・ 人員基準、運営基準、施設設備基準の回答

総事業費
 6,820千円

主な経費

- 対話型AIサービス開発（システム構築）、各ページ開発費
 →委託費：6,600千円
- 運営経費
 →委託費：220千円

推進体制
 (株) エクサウィザーズ：システム提供（委託）



KPI		R7 目標値	R7 実績値	単位	KPIの 達成状況 に応じた 今後の 対応等
①	1月の質問受付件数	600	155	件	
②	対話型AIサービスの満足度	2.8	3.89	ポイント	
③	事業所からの質問に対する回答までの所要日数の短縮	14	即日	営業日	
④					

システムの開発に時間を要し、稼働後間もないことから、1月の質問受付件数は目標値に達していないが、事業所からの質問に対する回答までの所要日数は大幅に短縮された。また、介護事業所に対して行った対話型AIサービスの満足度については、情報収集にかかる時間短縮、業務効率向上等の点で良好な結果が得られた。この評価を活かし、事業所へシステムのさらなる利用を促し、利用率の向上に努める。